

新潟生活

niigata seikatsu

第30号

2017年3月
発行

目次

教えて先輩! ● 乙でしかできない『おもてなし』
変わらない料理人になるという夢

特集 ● 自分らしい暮らし方を見つけよう にいがた鳥暮らし

～ お子様帰省された際に親子で将来を話し合ってみてください～

教えて先輩!
vol.57

乙でしかできない『おもてなし』

本気で遊び、本気で学ぶ

実家の乙まんじゅうやは創業212年を伝え、私は11代目を継がせてもらっていますが、子どもの頃の夢は塾講師でした。意外に思われることもあります。両親から家業を継いでほしいと言われたことはありません。そのため大学は、教育に力を入れている県外の大学に進学し、夢だった塾講師のアルバイトを始めました。母からは「勉強もいけど、せっかく大学に行くんだから本気で遊びなさい」と言われ、寝る時間を削って本気で遊びました。やり尽くせはしませんが、その時しかできないことは本気になってやったので、大学生生活は本当に楽しかったです。

お叱りを受けて 自社の役割に気づく

就職は両親から他社で働くことを勧められたこともあり、学習塾に就職しました。その後2012年にUターン。当初はモヤモヤした気持ちを抱えながら働いていました。伝統を守ってまんじゅうを作ることは周りの幸せに貢献することだけど、他のお店でもできるんじゃないかと思っただけです。仕事とは「志を持って、社会に貢献する」ことだと思っていたのに、まんじゅうを作って売ってだけでいいんだらうか、地元はこんなに閑散としているのに、ただ同じことを繰り返す日々でいいんだらうかと。

そんな時、乙まんじゅうに米粉をまぶした揚げまんじゅうを新商品として販売することになりました。喜ばれると思っていたら、「伝統を壊す気なのか」とお叱りを頂いてしまって…。けれど諦めなかったおかげで、半年かけてやっと認めていただけるようになりました。徐々に

気持ちにも余裕が出て、乙まんじゅうやという存在はスペシャルだと分かったんです。新商品が出てお叱りを受ける店って多分うち以外にはなく、212年間も変わらず買い求めてもらえるお菓子なんてない気付くことができました。200年前のように人が行き交うような乙を目指して、ここでしかできないおもてなしをやっていくことが、弊社の役割だと考えています。

■乙まんじゅうや HP
<http://www.kinoto-manju.jp/>



久世 俊介さん (28歳) 「乙まんじゅうや」11代目 和菓子職人

地域
胎内市

胎内市(旧中条町乙地区)出身。3兄弟の長男。子どもの頃から店番や配達など家の手伝いをしながら育つ。中学生の頃に通っていた学習塾の講師に憧れ、夢は塾講師になった。大学進学後、勉強と遊び・塾講師のアルバイトに全力で取り組む4年間を送り、卒業後は学習塾に就職。2012年にUターンし、11代目として乙地区に足を運んでくださる方におもてなしの気持ちを伝えるべく奮闘中。

教えて先輩!
vol.58

変わらない料理人になるという夢

ただただ、東京に行きたい

子どもの頃から食べることが大好きで、卒業文集に「将来の夢は料理人」と書いていました。進学した県立海洋高等学校では、航海研修を体験。船酔いに苦しみましたが、自分たちで獲ったマグロの美味しさを味わったり、夜空に広がる光の世界は本当に幻想的で、一般の高校生では体験できないような高校生活を送りました。

この機会を逃したら2度と東京に行くことはないだろうと思い、卒業後は東京の調理師専門学校に進学しました。ただただ、東京に行ってみたかったです。都会の暮らしは快適そのものですが、同じクラスの三条市出身の子としょっちゅう新潟あるあるを話して、懐かしく思っていました。

嬉しいことも、辛いことも直球

就職は東京に残ることも考えましたが、四季折々の楽しさを覚えていたから、「糸魚川に

帰りたい」と素直に思いました。就職活動は新潟の情報が少ない苦労しましたが、先生から上越市に本店がある割烹を紹介してもらい、卒業後は上越市で働くことが決まりました。上越での日々は毎日が修行で、限られた時間の中で段取り良く動くことは難しく、「誰が次に何をするか予想し、自分は何を準備しておくか、どう動くか」を考えながら働きました。

1年半ほど基礎を身につけてきた頃、「自分でも一通りのことがやってみたい」という思いが湧き、地元糸魚川の「高浪の池」でマルチな料理人として挑戦することにしました。今までは親方がいてアドバイスをもらうことができたのですが、今は自分で考え、決めなくてはいけま

せん。何をすることも挑戦で、お客様からの評価は嬉しいことも、辛いことも直球です。でも、東京や上越にいた時よりも何倍もできることが増えました。私のもっともっと糸魚川を盛り上げたいと思っていますし、自分の料理をきっかけにして「高浪の池」にたくさんの方が足を運んでくれたら嬉しいです。

■高浪の池 HP
http://www.itoigawa-kanko.net/spot/takana_minoike/



伊藤 大貴さん (21歳) 高浪の池 料理人

地域
糸魚川市

糸魚川市出身。子どもの頃から食べることが大好きで卒業文集に「料理人になりたい」と書き残す。県立海洋高等学校に進み、日本一周やロシア航路を回る研修を受けたり、操船を学ぶ。料理人になる夢を叶えるため、東京の調理師専門学校に進学し、卒業後は上越市の割烹で一人前の料理人になるべく朝から晩まで修行。2016年糸魚川市にUターンし、「高浪の池」料理人としてお客様をもてなしている。

新潟県U・Iターンコンシェルジュ

- 転職のエキスパートが、東京と新潟からあなたのU・Iターンを強力にサポートします!
- 豊富な新潟県内の企業情報をもとに、ご希望の仕事を見つけます!
- 住居や学校など生活に必要な情報を提供します!



あなたの
U・Iターンを
実現します!

新潟県へのU・Iターンをお考えの方、
まずは登録を!

登録は <http://www.niigata-uitc.com/>

または

お問い合わせ・お申し込み

新潟県U・Iターンコンシェルジュ事務局 株式会社パソナ パソナ・新潟
新潟事務局 / 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7番町1230-7 ストックビル鏡橋3階
TEL ● 025-374-7410 (平日 9:00~17:30)
東京事務局 / 〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4 パソナグループ本社内
TEL ● 03-6734-1358 (平日 9:00~17:30)
Email ● k.niigata@pasona.co.jp

U・Iターン総合サイト「にいがた暮らし」を リニューアルしました!

新潟県へのUターンをお考えの方のお役に立つ情報がパワーアップしました。合同企業説明会などの仕事情報やU・Iターン者インタビュー、県や市町村の支援策情報などが、これまで以上に充実! 新潟県へのUターンに関する情報収集は、ここから始まります!



Uターン おすすめコンテンツ

▶ タイムリーな仕事情報を提供!

新潟県内企業が参加する合同企業説明会や県・市町村職員募集の情報を一覧でご案内しています。情報は随時更新!



▶ 300件を超えるインタビュー記事!

新潟にU・Iターンした先輩のインタビューやコラムから、UターンやIターン、地域、職種など、ジャンルを絞った検索ができるので、参考になるストーリーがみつかりやすい!



▶ 600件を超える支援策から検索!

県・市町村の支援策を、自治体名や仕事、住宅、結婚・子育てなどの種別から検索できます。U・Iターン者向け支援策の絞り込み検索も使いやすい!

または



Uターン情報誌

「新潟生活」と「新潟Uターン情報」をセットで無料送付しています。



新潟生活

- 新潟にU・Iターンした先輩の体験談
- 新潟の豊かな暮らしや魅力的な仕事の紹介 など

新潟Uターン情報

- 新潟県内企業の紹介
- 就職活動の動向
- 就職ガイダンスのお知らせ など

お申し込み・お問い合わせ

新潟県新潟暮らし推進課

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
TEL 025-280-5112 (直通)

